



公明党が
推進!!

市内全区に

「こそだてインフォメーション」が開設!!

「こそだてインフォメーション」とは?

市内全区の区役所や保健センターにおいて、子育ての相談や、行政・地域のサービス・イベントなどの情報提供、また関係専門機関を案内してくれる子育ての総合窓口です。



親子で利用しやすいように様々な工夫をしています。

市議会公明党が推進!!

公明党はこれまで「産前産後の切れ目のない支援を行うネウボラ理念を踏まえた、ワンストップ型の子育て支援体制を整備すべき」と議会で何度も取り上げてきました。昨年の定例市議会の公明党代表質問において、札幌市は「子育ての相談や情報提供の充実に取り組み、各部署が密接に連携を図っていく」と明言し、平成30年4月、遂に「こそだてインフォメーション」が開設しました。

子育てについて
どこに相談したらいいかわからない。
そんな時は!!

子どもを
預けるには
どうするの?

子育てに
ついて教えて
ほしい

親子で
遊べる場所
はどこ?



札幌市が「SDGs未来都市」

に選定されました!

SDGs (エス・ディー・ジーズ) とは?

「持続可能な開発目標」との意味で、英語ではSustainable Development Goalsと表記され、頭文字をとって「SDGs」としています。2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2016年から2030年までの国際目標です。

持続可能で多様性と包括性のある社会の実現のため、17のゴール(国際目標)と169のターゲット(取組・手段)から構成され、「地球上の誰一人として取り残さない」ことを誓っています。

具体的には、フェアトレードやエシカル消費など、市民運動として活発な取組が重要であり、行政においても様々な事業計画にSDGsの推進を盛り込むことが求められます。

SDGsは発展途上国のみならず、先進国も含めた全ての主体が取り組む普遍的なものであり、日本においても今後積極的な取組が期待されます。



フェアトレード札幌戦略会議の皆さんと意見交換

市議会公明党の一環した主張が実り、このほど国が認定する「SDGs未来都市」に札幌市が選定されました。これは、平成30年3月に改定された「第2次札幌市環境基本計画」にSDGsの推進を位置づけたことや、都心部における低炭素で持続可能なまちづくりの推進、教育現場や出前講座など通じてSDGsの理解向上や普及をはかってきた事などが大きく評価され、6月15日に安倍総理より選定書が授与されました。

公明党は平成29年の第1回定例会市議会で、札幌市議会で初めてSDGsを取り上げたのを皮切りに、あらゆる分野においてSDGsの理念に基づく事業計画の策定などを強く訴え続け、札幌市におけるSDGsの議論をリードしてきました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SDGsの目指す17のゴール(目標)を表すロゴ

■ フェアトレードとは

フェアトレードとは、開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することにより、立場の弱い生産者や労働者の生活改善と自立を目指す取り組みです。具体的には、フェアトレード製品として認証され、認証ラベルがついたチョコレートやコーヒー、バナナやワインなどの製品を積極的に購入しようという取り組みです。

※フェアトレードタウンとはフェアトレード製品の利用を促進しており公正貿易証明団体から認定された都市のことです。

■ エシカル消費とは

エシカルとは「倫理的な」「道徳上の」といった意味で、エシカル消費は倫理的消費と呼ばれることもあります。具体的には環境や社会に配慮した製品やサービスを選んで消費することで、社会問題の解決に貢献していくことです。

札幌市が「SDGs未来都市」 に選定されました!

市議会公明党が一貫して議論をリード!

●札幌市議会における初のSDGsについての質疑

平成29年2月28日 本会議代表質問／SDGsの理念にかなった教育行政をと主張。

●全国でも先駆! 行政計画にSDGsの推進を位置づけ

平成29年3月27日 総務委員会／「第2次環境基本計画」の改定にあたって、SDGsの掲げる環境課題を盛り込むべきと主張。

●全庁の行政計画にSDGsの反映を

平成29年9月20日／総務委員会／官民が協力し、環境局のみならず全庁的に行政計画にSDGsを反映させ推進すべきと主張。

●第3次消費者基本計画にSDGsの理念を

平成29年10月17日 決算特別委員会／第3次消費者基本計画の策定にあたっては、SDGsの理念に基づく「エシカル消費」や「フェアトレード」の視点を反映させるべきと主張。

●フェアトレードタウン認定を目指せ

平成29年12月6日 本会議代表質問／SDGsの掲げる「貧困の解消や持続可能な生産と消費」に寄与する「フェアトレード運動」を官民あげて全市的に取り組み、フェアトレードタウンの認定を目指すべきと主張。

平成30年3月9日 予算特別委員会／平和の祭典オリパラ招致を目指す都市として、フェアトレードの理念を広く市民に周知し、世界都市へと成長するための大きな力となるフェアトレードタウンの認定に向け、さらに取り組むよう主張。

●エシカル消費の取組みを積極的に

平成30年5月24日 本会議代表質問／SDGsの取組について全市的な観点のもと組織横断的に進めるべき、また、エシカル消費に関する取組を積極的に進めるべきと主張。

SDGsの理念に基づく政策を推進!

市議会公明党は「地球上の誰一人として取り残さない」とのSDGsの理念に基づく様々な政策の実現に挑戦しています!

1 貧困をなくそう
SDGs 1
貧困をなくそう



子どもの貧困の原因の一つにひとり親の就業環境があります。家庭環境の充実のためにひとり親の就職支援を進めてきました!

3 すべての人に健康と福祉を
SDGs 3
すべての人に健康と福祉を



公明党はガン対策を進めてきました。来年1月に庁舎と区役所の建物と敷地内を全面禁煙にする方針になりました!

4 質の高い教育をみんなに
SDGs 4
質の高い教育をみんなに



札幌市に公立夜間中学校設立を強力に推進。誰もが教育を受けることができる環境づくりを目指します!



シングルママ&パパのためのおしごとマーケット



秋元市長に一日も早い公立夜間中学校の設立を申し入れ

※上記の他にも、ジェンダー支援、環境保護対策、インフラ整備、健康福祉の推進、都市づくり、公共交通課題へ取組みなど、様々な分野でSDGsの理念を政策に反映し取り組んできました。

先進事例の調査や、市民団体との連携を積極的に推進!

フェアトレードタウン認定都市を訪問調査



熊本市



名古屋市

市民団体の各種イベントに参加し意見交換



フェアトレードパネル展(フェアトレード北海道)

新幹線札幌駅周辺整備について



わたなべ泰行議員(南区選出)

Q 新幹線から各交通機関への乗り換え利便性の確保を進めるべき。

A バスターミナルやタクシー乗り場などの交通基盤の機能強化と、快適な乗り換への整備を進める。また、バリアフリー化など国内外からの来訪者や市民の誰もが快適に利用できる空間に整備する。

冬季オリ・パラ2030年を照準に

Q 冬季オリンピック・パラリンピックの招致について2030年に照準を定め、共生社会の実現に向けて取り組み、市民にオリンピック・パラリンピックムーブメントを実感してもらいながらウィンタースポーツの振興を推進すべき。

A 市民が楽しみながらアスリートを応援したくなる雰囲気を醸成するとともに、多くの子ども達がウィンタースポーツに組み込み、未来のアスリートが育つ環境を創出する。

札幌市の不登校対策の強化を

Q 昨今の不登校の増加についての原因は社会的な要因もあり、学校だけの対応では難しい。今後、更なる取り組みをすべき。

A これまでの取組に加え、相談支援パートナーやスクールソーシャルワーカーによる家庭への訪問等の支援を進めていくとともに関係部局や相談機関との一層の連携を図り、不登校対策を強化していく。

常任委員会・調査特別委員会の質問より

子育て中の女性を対象にした就労や保育の相談窓口の充実を

Q これまで推進してきた「子育て中の女性を対象とした就労や保育に関する総合相談窓口」が今秋に開設するが、利用促進のため体制を整備すべき。

A 10月開設予定の相談窓口の他に試行的に2ヶ所出張相談を行い、多くの女性が気軽に相談できる窓口を目指していく。

中小企業の人材確保を

Q 今後、少子高齢化の進展で生産年齢人口の減少が懸念されるなか、中小企業の人材不足の解消に向けて取り組みをすべき。

A 全国と比べて有業率が低い女性や高齢者、道外への転出が多い20代など札幌市の実情や課題にそって具体的に取り組んでいく。

町内会に関する条例素案について

Q 町内会の加入促進が難しい集合住宅への取組は、不動産業界の協力が不可欠であり、今後の不動産事業者への働きかけを更に進めるべき。

A 条例を制定するのを機に、不動産関連団体へ条例の周知を図り、協力を依頼するとともに、より効果的な取組について各団体と意見交換をしていく。